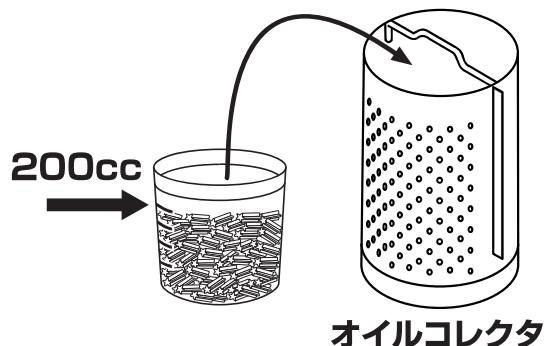


●オイルキャッチャご使用方法（ロースター1台当り）●

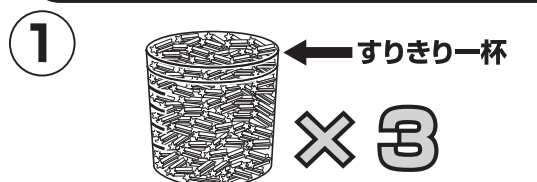
※弊社無煙ロースターには構造の違いにより、下記3種類のフィルタがございます。
お客様がお使いのフィルタをご確認して頂き、下記の通りお使い下さい。

Yタイプのフィルタの場合

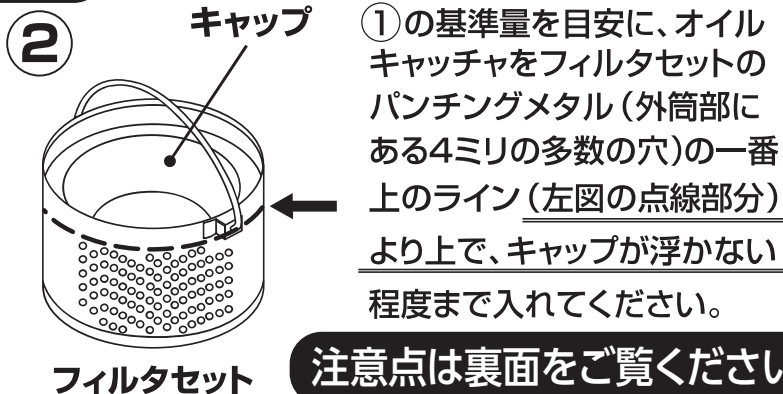


左図のように、付属の計量カップの
200cc目盛り線 までオイルキャッチャ
を入れ、オイルコレクタに入れてください。
この **1杯分** が基準量です。

J・W・SVSSタイプのフィルタの場合



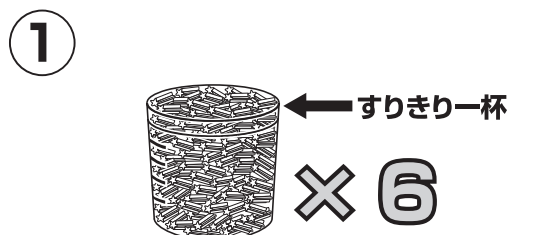
上図のように、付属の計量カップに
すりきり一杯 の
オイルキャッチャを入れて下さい。
この量の**3杯分** が基準量です。



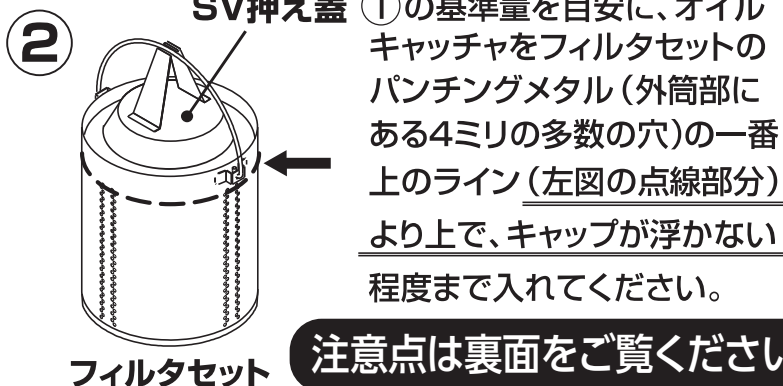
①の基準量を目安に、オイル
キャッチャをフィルタセットの
パンチングメタル（外筒部に
ある4ミリの多数の穴）の一番
上のライン（左図の点線部分）
より上で、キャップが浮かない
程度まで入れてください。

注意点は裏面をご覧ください。

SV・SVSのフィルタの場合



上図のように、付属の計量カップに
すりきり一杯 の
オイルキャッチャを入れて下さい。
この量の**6杯分** が基準量です。



①の基準量を目安に、オイル
キャッチャをフィルタセットの
パンチングメタル（外筒部に
ある4ミリの多数の穴）の一番
上のライン（左図の点線部分）
より上で、キャップが浮かない
程度まで入れてください。

注意点は裏面をご覧ください。



※SVSは蓋の形状は異なり
ますが、オイルキャッチャ
の量は同じです。

※運搬中に細かい粒や粉が発生することがありますが、
それを想定してあらかじめ増量しております。

●オイルキャッチャ交換時の注意点●

※ J・W・S V S S・S V、各タイプにおいて、オイルキャッチャ交換時に適正量をしっかりセットされないと、パンチング部分にオイルキャッチャの隙間が生まれたり、キャップが浮いてしまったり、油脂回収能力がしっかりと発揮されなくなります。下記注意ポイント1～5の順に沿って、正しくセットして頂きますようお願い致します。

(例) J・W・S V S Sタイプのフィルタの場合



すりきり3杯（小袋1ヶ）を
フィルタセットに入れる。



少量がおさまりきっていない状態。
※パンチング部分に隙間ありNG！



軽く数回叩きながら全て外周部分におさめる。
※パンチング部分をオイルキャッチャでしっかり埋める。



すべて外周におさまるが、若干ラインより
上にあふれる。（キャップが浮くのでNG）



キャップをのせてから、さらに数回叩く

OK

・量も適正

・キャップも浮かない